

句集幻奏録

Genshou Roku

須藤 徹

Suetsugu Tooru

思想がざらざらの

下水管を行き、

朝、伽藍は

虎杖に近づく



俳句を書きさる

覚悟に肝をすえ

存在の中心に向けて

放たれた六百句

そこに静かなる

熱気が籠もり

幻の韻律が

放電する